



平成29（2017）年5月9日

各 位

会 社 名 ヨネックス株式会社
代 表 者 代表取締役社長 林田 草樹
（コード番号7906 東証第2部）
問 合 せ 先 常務取締役 連下 千歳
TEL (03) 3839-7112

個別業績の前期実績との差異に関するお知らせ

平成29年3月期（平成28年4月1日～平成29年3月31日）の個別業績につきまして、前期実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成29年3月期通期個別業績と前期実績値との差異（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績（A） （平成28年3月期）	百万円 48,213	百万円 1,689	百万円 1,728	百万円 1,226	円 銭 14.07
当期実績（B） （平成29年3月期）	49,128	2,146	2,380	2,121	24.31
増減額（B－A）	915	456	651	895	
増減率（%）	1.9	27.0	37.7	73.1	

（注）当社は、平成29年2月17日の取締役会決議に基づき、平成29年4月1日付で普通株式1株当たり4株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益金額を算定しております。

2. 差異の理由

売上高は、主力のバドミントン用品、テニス用品の販売が競技人気の高揚と契約選手の活躍に連動し増加いたしました。円高に伴う日本国内向け商品輸入コストの低減等により利益率が改善し、営業利益、経常利益を押し上げました。

新潟県長岡市に新設いたしました工場の設備投資に対する国庫補助金収入が当期に受領となり、特別利益に計上いたしました。また、同件に対する設備投資減税等の税額控除により、法人税等の税負担額が軽減され、当期純利益を大きく押し上げました。

以 上